

「脳卒中と考えられ搬送された患者の診断名、タイムコース、検査、治療、転帰」

【研究の目的・意義】

脳卒中疑い患者は近年では病院前診断と搬送先の選定、病着後の診療体制や加療によって予後が異なってくる疾患である。当院のように民間病院としては熊本県で数少ない一時脳卒中センターとしての役割を目指すべき病院では、救急隊のトリアージから当院での診療がどのように行われているかを経時的に把握し社会にフィードバックする必要があると考えられる。杉村病院に運ばれた患者群における診療内容を適切に把握できるようにすることを目的とした。

【研究の方法】

(1) 研究の種類・デザイン

後ろ向き・前向き観察研究

(2) 研究対象者

① 予定症例数及びその設定根拠

〈予定症例数〉

約 500 例

〈設定根拠〉

当院脳神経内科に月約 10-20 名の脳卒中と考えられる患者が搬送される見込みであり、承認日から 5-6 年で症例数が見込めるため。

② 対象患者

研究対象期間に当院へ搬送または院内発症された脳卒中と考えられる患者。

③ 除外基準

(1) 明らかな外傷患者

(2) 18 歳未満の患者

(3) その他試験担当医が不適切と判断した患者

【研究の期間】

2019 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで